CRITEO

新しい
オーディエンス
/セグメント
機能のご紹介

目次

1

はじめに&
カスタムオーディエンスの特徴

2

新機能のご紹介
オーディエンス
/セグメント機能

3

操作マニュアル
セグメントを作成し
オーディエンスを
組合せる

4

Appendix
カスタムオーディエンスから
CV済みユーザーを
除外する方法

CRITEO

はじめに

Criteoでは続々と新しいオーディエンスを追加し、現在は以下の3種類に大別されます

リターゲティング

Retargeting

サイト訪問履歴のある
ユーザーをターゲティング

プロスペクティング
(旧シミラー / 旧CCA)

Prospecting

広告主のサイトに興味があり
そうな新規の見込み客に
自動的にリーチ

カスタム

Customizable

NEW !

CRITEO

カスタム オーディエンスの特徴

管理画面で複数のセグメントを組合せ、独自オーディエンスを作成できます

リターゲティング

Retargeting

サイト訪問履歴のある
ユーザーをターゲティング

プロスペクティング
(旧シミラー / CCA

Prospecting

広告主のサイトに興味があり
そうな新規の見込み客に
自動的にリーチ

カスタム

Customizable

Criteoと広告主のデータを元に、
様々なセグメントを組合せ
独自オーディエンスを
構築

- コマース
- Lookalike
- ペルソナ
- ロケーション
- イベント
- 顧客リスト

CRITEO

新機能のご紹介

オーディエンス/セグメント機能

CRITEO

オーディエンス/セグメント機能の基本

「オーディエンス」と「セグメント」の2つの機能で構成されています
セグメントで意図するユーザー群を作成し、組み合わせてオーディエンス化します

セグメント　オーディエンス

例えば 靴メーカーの場合

何らかの靴を買おうとしているユーザーのオーディエンス

靴 segment → コマース「靴」のセグメントを作成 → 靴 audience → 作成したセグメントをオーディエンス化

Tips
広告セットに紐付けられるのは「オーディエンス」のみ。
セグメントの状態では広告セットに紐付けできない。

昨年1年間に靴を購入したユーザーに似たオーディエンス

1y CV segment → 「CV済み」イベントでセグメントを作成 → CV LAL segment → 「CV済み」の類似拡張をしたセグメントを作成 → CV LAL audience → 類似拡張したセグメントをオーディエンス化

Tips
Lookalikeの元となるデータ群もセグメントで作成する。類似拡張もセグメント機能でセルフサーブ可能。

「過去30日間に自社サイトで靴を買ったユーザーに似ている」または「何らかの靴を買おうとしているユーザー」から「自社の既存会員(Email)」を除外したオーディエンス

30d CV segment → CV LAL segment / 靴 segment / 既存会員 segment → Emailベースの既存会員セグメントを作成 → CV LAL + 靴 − 既存会員 → 各セグメントを組合せてオーディエンス化

Tips
オーディエンス組合せでは、AND,OR,除外の条件が利用可能

CRITEO

オーディエンス/セグメント機能へのアクセス

左側のメニュー > アセット配下のオーディエンスを選択

管理画面TOP

オーディエンス/セグメント機能TOP

左上のタブでオーディエンスとタブを切り替え

オーディエンス機能TOP

Tips
リターゲティングやプロスペクティング*を実施している場合、
広告セット作成時に対象オーディエンスが作成されており、
自動的にオーディエンスタブにリスト登録されています。

セグメント機能TOP

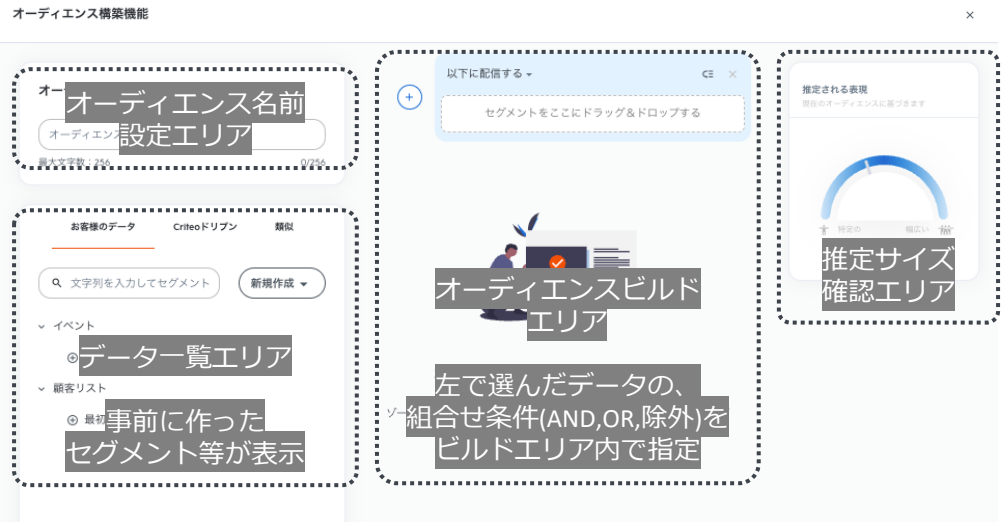
Tips
リタゲとプロスペクティング*以外の配信を実施していない場合、
何のセグメントも登録されていません。

プロスペクティング:旧CCA、Similarオーディエンスのこと

オーディエンス/セグメント ビルダー機能の紹介

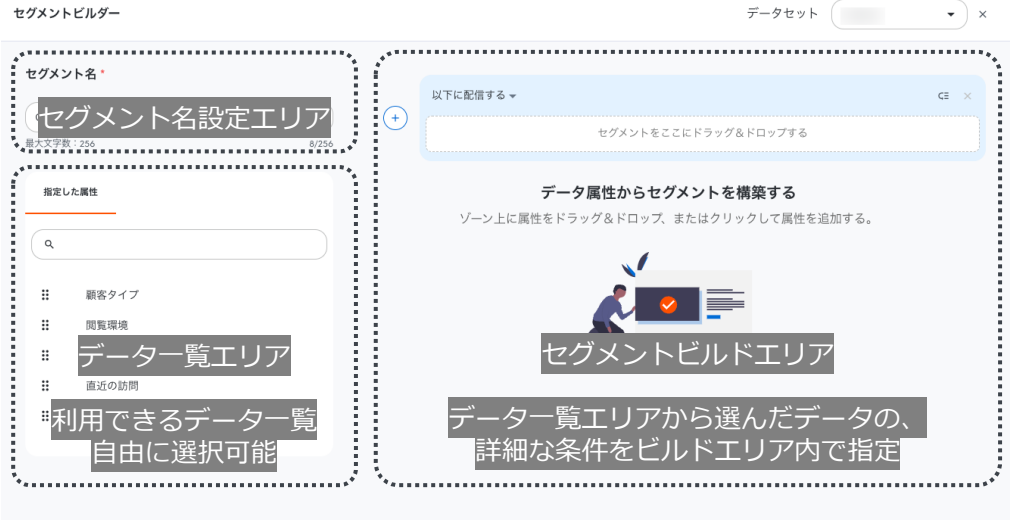
それぞれにユーザー群を構築するビルドエリアが存在します。
オーディエンスビルダーでは、推定のオーディエンスサイズが確認できます。

オーディエンスビルダー機能



Note
オーディエンスビルダー機能では、セグメントを組合せ、カスタマイズした配信対象リストを作成できます。
広告セット作成時のフローでもオーディエンスは作成できますが、複雑なオーディエンスを作成したい場合は、事前にオーディエンスビルダー機能で意図するオーディエンスを作成、確認してから、広告セット作成時に作成済みのオーディエンスを選択する方法を推奨いたします。

セグメントビルダー機能



Note
セグメントビルダー機能では広告主が条件を指定する独自のセグメント(コマース、Lookalike、 CV済みユーザー等)を作成できます。
ペルソナセグメントのみセグメントビルダーで新規作成する必要はなく、直接オーディエンスビルダーで選択できます。

操作マニュアル

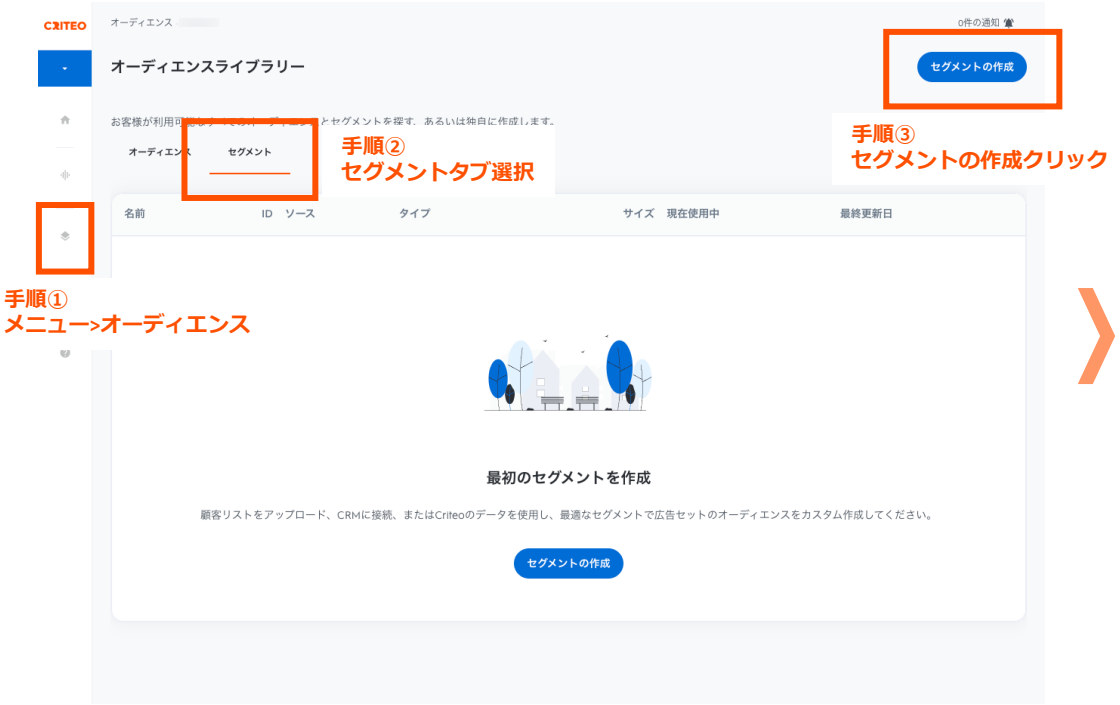
セグメントを作成し
オーディエンスとして組合せる

CRITEO

セグメントで任意のユーザー群を作成する 1/2

メニュー > オーディエンス > セグメント へと移動し、「セグメントの作成」ボタンを押下する。任意のセグメントタイプを選択　（例、コマース)

セグメント機能TOP



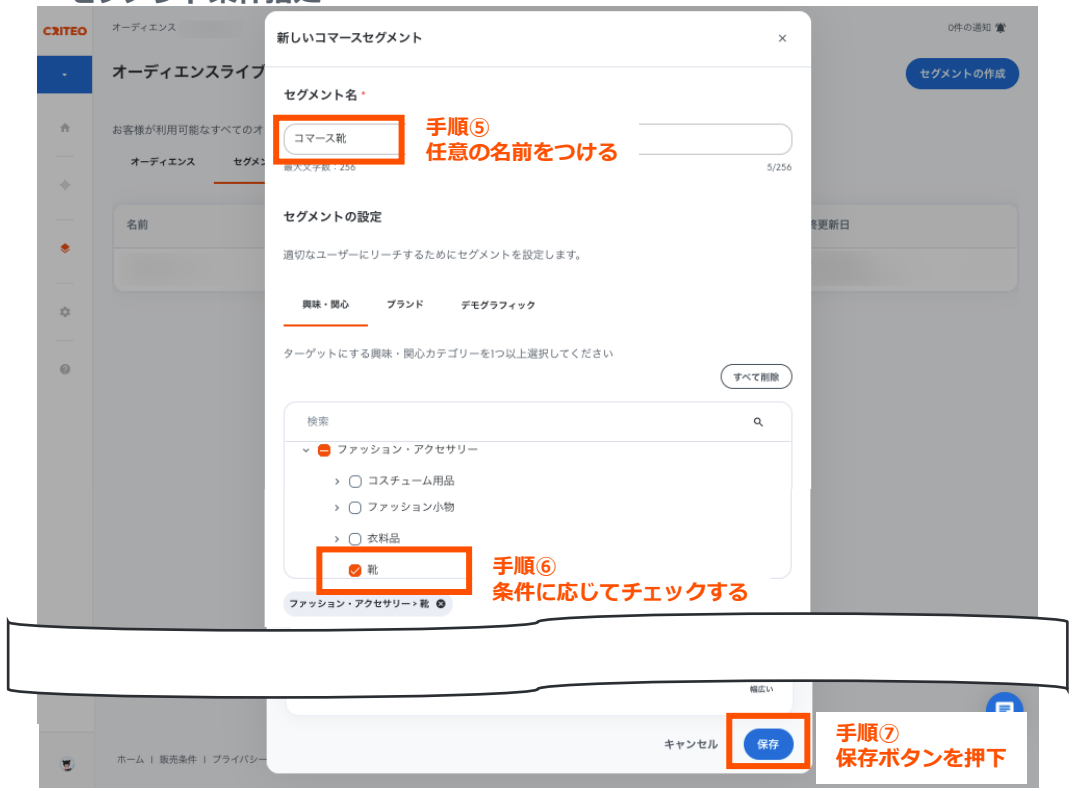
セグメントタイプ選択モジュール

セグメントで任意のユーザー群を作成する 2/2

任意の名前、条件を指定し保存ボタンを押下

作成されたセグメントはセグメントはリストに表示

セグメント条件指定



セグメント機能TOP

Note：カスタムセグメント詳細

イベント：Criteoタグで取得できるオンライン上の行動を元にしたユーザー群
　　サイトでの商品の閲覧/購入、デバイスなど
顧客リスト：広告主の保有する連絡先（Email）
ロケーション：緯度経度に基づく、特定の場所の近くにいるユーザー群
コマース：選好、購入ブランド等に基づくユーザー群
類似：セグメントに含まれるユーザー群と類似する特性、行動をもつユーザー群
ペルソナ：Criteo独自のユーザー群

ペルソナはプリインストールされているので、カスタムに属しますが、セグメント作成機能では選択肢として表示されません。はじめからオーディエンスタブで選択することができます。

セグメントを組合せオーディエンス化する 1/2

メニュー > オーディエンス > へと移動し、「オーディエンスの作成」ボタンを押下
オーディエンスタイプで「カスタム可能」を選択

オーディエンス機能TOP

Tips
リタゲとプロスペクティング（旧CCA、Similarオーディエンス）以外の
オーディエンスは「カスタム可能」から
作成します。

セグメントを組合せオーディエンス化する 2/2

オーディエンスビルダーで、オーディエンス名を指定

組合せたいセグメントを選び、ビルドエリアでANDまたはOR条件で指定し、保存

オーディエンスビルダー

ビルドエリアのプルダウンで組合せ条件を指定する

Appendix

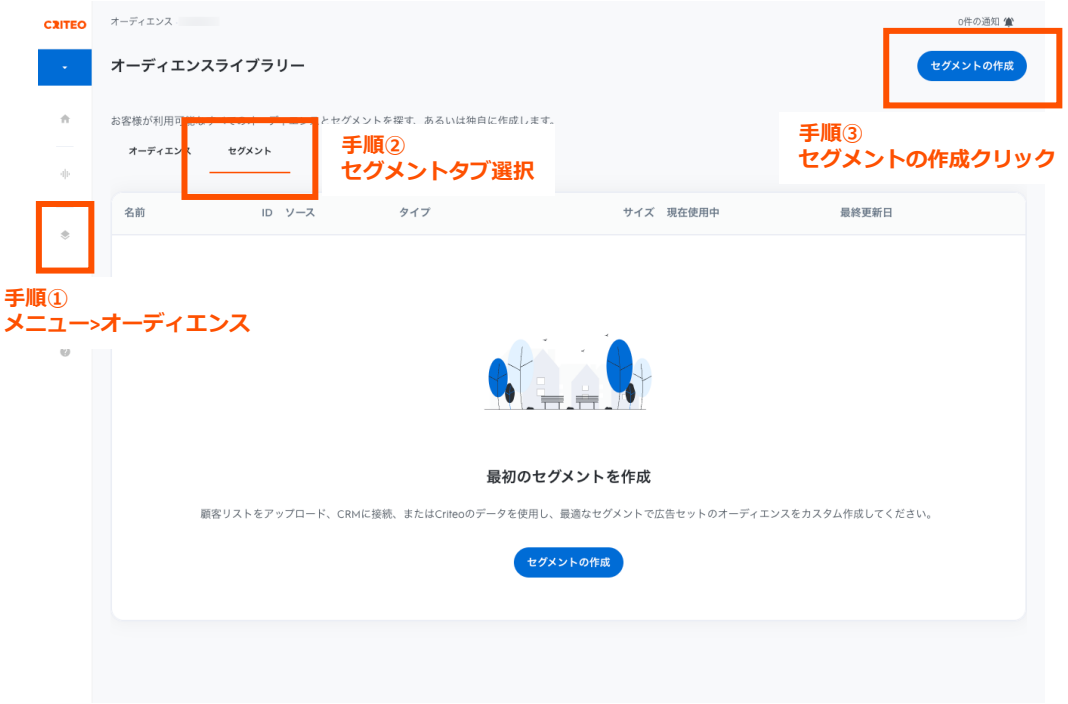
カスタムオーディエンスから CV済みユーザーを 除外する方法

CRITEO

セグメントでCV済みユーザー群を作成する 1/3

メニュー > オーディエンス > セグメント へと移動し、「セグメントの作成」ボタンを押下。セグメントタイプで「イベント」を選択

セグメント機能TOP

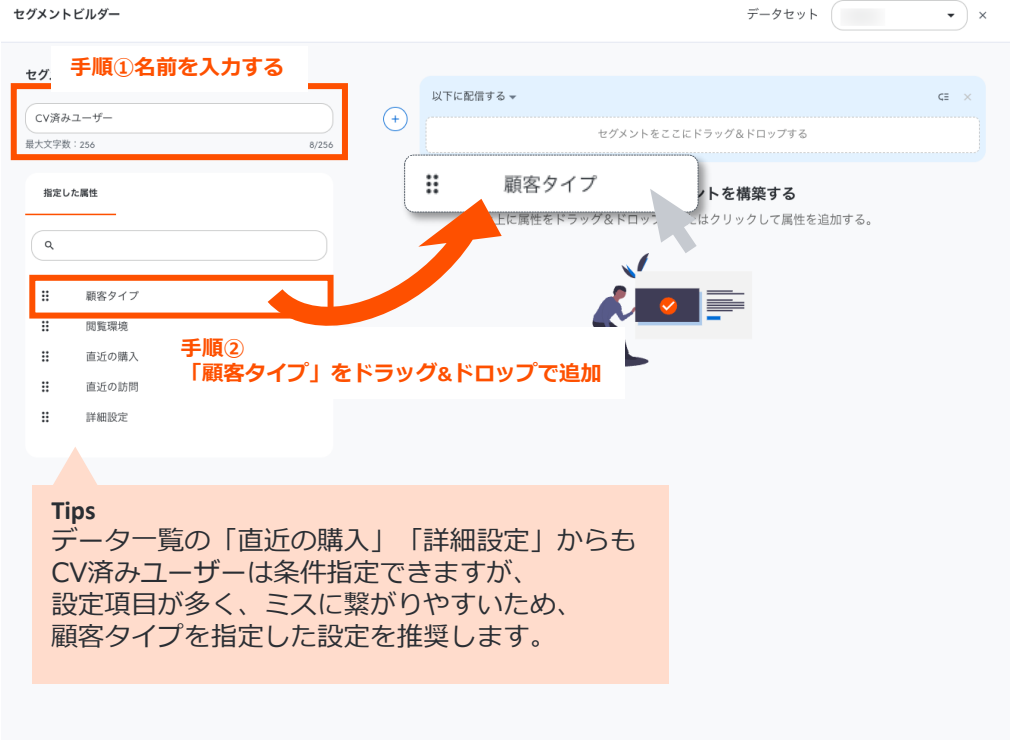


セグメントタイプ選択モジュール

セグメントでCV済みユーザー群を作成する 2/3

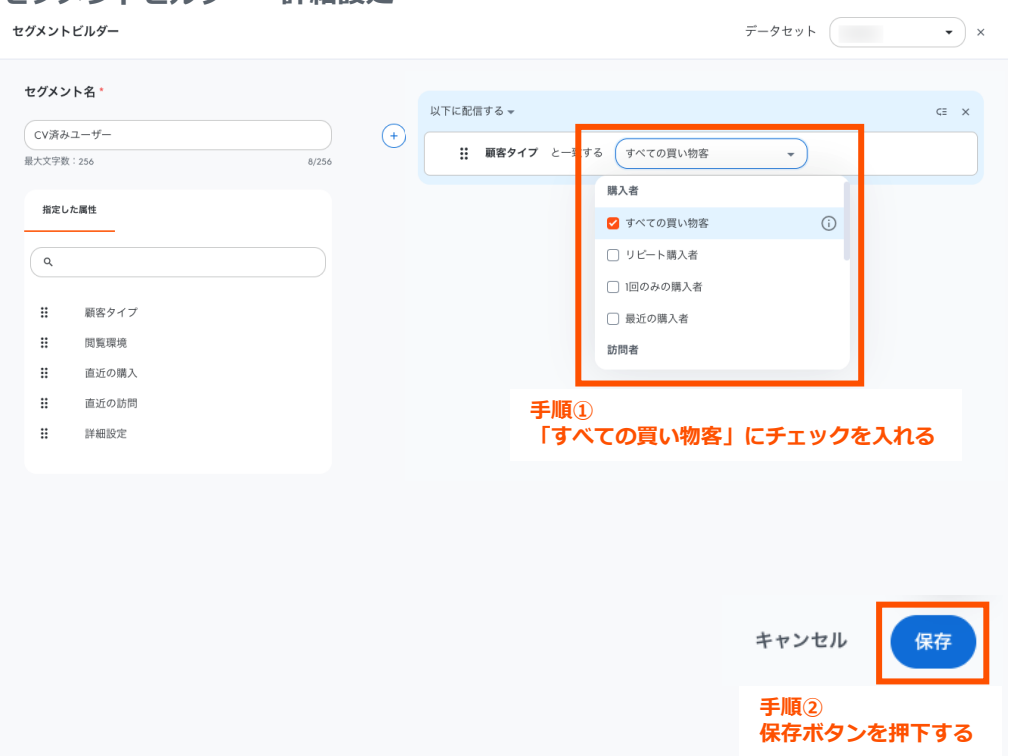
セグメント名を入力し、データ一覧から「顧客タイプ」をドラッグ&ドロップで
ビルドエリアに追加。顧客タイプ > 購入者 > すべての買い物客を選択し保存

セグメントビルダー



Tips
データ一覧の「直近の購入」「詳細設定」からも
CV済みユーザーは条件指定できますが、
設定項目が多く、ミスに繋がりやすいため、
顧客タイプを指定した設定を推奨します。

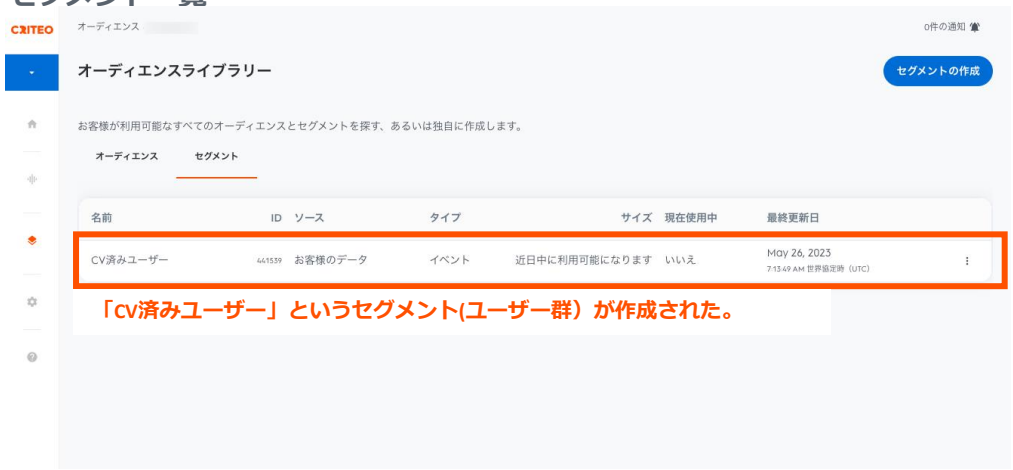
セグメントビルダー　詳細設定



セグメントでCV済みユーザー群を作成する 3/3

セグメント一覧に作成したセグメントが表示

セグメント一覧



Note
同じセグメントタイプ同士であればセグメント機能内で組合せも可能です。
(例、セグメントタイプ[イベント]で購入者と訪問者をOR条件で指定する)

*オーディエンスとセグメントの両機能で組合せを行うと煩雑になるため、
セグメント機能ではシンプルなユーザー群を作るに留め、
組合せは全てオーディエンス機能で行うことを推奨します。

オーディエンス機能でcvユーザー除外設定をする 1/2

メニュー > オーディエンス > へと移動し、「オーディエンスの作成」ボタンを押下
オーディエンスタイプで「カスタム可能」を選択

オーディエンス機能TOP

オーディエンスタイプ選択モジュール

オーディエンス機能でcvユーザー除外設定をする 2/2

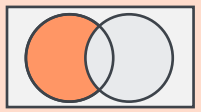
オーディエンスビルダーで、オーディエンス名を指定。元になるセグメントとcvユーザーセグメントを選び、ビルドエリアで除外条件を指定して保存

オーディエンスビルダー機能

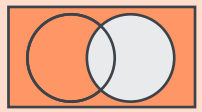
ビルドエリアのプルダウンで組合せ条件を指定する

Tips
除外したいセグメントを結合するときは、必ず「AND」を指定してください。

■Aかつ(=AND)Bではない



■Aまたは(=OR)Bではない



手順⑦
保存ボタンを押下

CRITEO

Thank you